2E目 第28回全国救急隊員シンポジウム開催プログラム

※消防団体名及び一部団体名については省略して表記しています。

	※消防団体名及ひ一音)一部団体名については省略して表	記しています。
	会議棟				展示棟				会議棟展示棟		
8:00 —	第1会場 大ホール:収容人数 1,000 人	第 2 会場 橘:収容人数 562 人	第3会場 萩:収容人数462人	第 4 会場 白橿: 収容人数 400 人	第 5 会場 会議室 3:収容人数 182 人	第 6 会場 会議室 4:収容人員 182 人	第7会場 会議室 1:収容人員 168人	第 8 会場 会議室 2:収容人員 168 人	第 9 会場 小会議室 5:収容人員 30 人	第 10 会場 桜: 収容人員 800 人	3階展示室
0.00	開場(8時00分~)										
9:00 —	【パネルディスカッション 5】 「救急現場における DNAR への対応」 〜救急現場での生命倫理と医療倫理を 考察する〜	[教育講演 3] 「実効性のある救急隊の感染防止対策 について」 〜国際的イベント開催に備える〜 講師:森田 正則(郷立路治歴セター)	【パネルディスカッション6】 「緊急走行時の安全対策について」 〜迅速かつ安全な傷病者搬送を目指して〜 座 長:間宮雄二郎 (川崎市)	【一般発表 19】 テロ災害・大規模災害・多数傷病者2 座 長:米澤 尚哉(栗原市) 助言者:山内 聡(大崎市民病院) ロ石 能草(岡山市)	9:00~10:30 【一般発表 20】 関係機関との連携2(福祉・行政等) 座 長:和野 康宏 (石巻地区広域) 助言者: 櫻井 睦美 (国立病院機構仙台) 工藤 誠史 (中部上北広域) 発表者: ①高橋 和希 (名古屋市) ②木村 赤布 (安宋市) ③ 小 規太香垣 (損衰都市) ⑤ 石田 和司 (松山市) ⑥田中 博之 (高崎市等広域) ⑦金城万里奈 (小田原市)	9:00~10:30 <90分> [一般発表 21] 調査・研究4 座長:平井歩(弘前地区) 助言者:花田 裕之(弘前地区) 北岡和高(松山市) 発表者:①岡部 康貴(姫路市) ②富田 ③永島 真道(大(美閣市) ④中下 5.0 (大(豊橋市)) ⑥汝佐間宏市 6.0 中西 柘太 (堺市) ⑦吉村 友一 (横浜市)	9:00~10:30 【一般発表 22】 通信指令・応急手当・パイスタンダー 座 長:干薬 一弘 (一関市) 助言者:買金 健 (岡山赤十字病院) 修 (熊本市) 発表者: ①木下 顕啓 (さいま市) 温深田 (北野市) (第四) (4)大野 (50川) (50川) (6田島 典夫 (小牧市) (7細井) (7細井)	【一般発表 23】 救急活動5 (周産期・小児) 座 長: 佐藤 康平 (札幌市) 助言者: 坂東 敬介 (市立札幌病院) 高橋 伸一 (秋田市) 発表者: ①相田 裕二 (日立市) ②安里由美子 (吐謝川ニライ) ③上田 巧 (草加八潮) ④小山 桃子 (均玉西部) ⑤高田 仁 (成田市) ⑥内藤 太一 (映南広域)	【スキルトレーニング 6】 「活動記録システムを用いた シミュレーショントレーニング」 〜活動時間の短縮を目指して〜 講師:小林正和(東北大学病院高度救命救急セン ター)	9:30~12:10 <160分> 【市民公開講座】 「地域の安全をみんなで守る」 ~ともに助け合う社会へ向けて~ 講 師: 佐藤 健 (東北矢学災害科学国際研究所) 遠藤 智之 (東北医科薬科大学病院教急科) 司 会: 佐々木隆広 (仙台市) 指導者: 仙台市応急手当指導員 仙台市防災安全協会応急手当指導員東北福祉大学学生 (救急救命士課程) 協力	一般発表閲覧用パソコン設置
10:30 —					☆箱(10 ☆)						
10:40 —									10:40~12:10 <90分>		
	【シンポジウム 8】 「多数傷病者発生事象における対応】 ~多数傷病者発生時の活動を考察する~ 座 長:家田 昌利(横浜市) アバイケ・出口 芳裕(杏林大学) 野村 広樹(柏模原市) ジボスト:①今川 秀樹(札幌市) ②及川 健工(東京消防庁) ③川上喜太郎(神戸市) ④西川 裕之(京都市) ⑤白井 泰延(川崎市)	【総合討論】 「救急救命の新たなステージに向かって」 ~新時代に求められる救急とは~ 座 長: 久志本成樹 (東北大学) の田 元高 (東宗消防庁) 7がパナ:有賀 徹 (労働者健康安全機構) 嶋津 店士 (日本救急医学会) ジボスト: (1元井 勲 (仙台市) ②尾方 純 (教教命東京研修所) ③服部 良一 (堺市) ④伊藤 菫彦 (北九州市立八幡 疾院) ⑤齋藤 健一 (総務省消防庁)	【パネルディスカッション 7】 「大規模イベントに向けた教急対応」 ~2020年 東京オリンピック・ パラリンピックに向けて~ 座 長: 鮫島 秀司 (千葉市) 7がパザー: 森村 尚登 (東京大学) 阿南 英明 (藤沢市民病院) ディスかサト: ①武本 洋典 (大阪市) ②藤田 豊 (横浜市) ③瀧澤 (大阪市) ④伊善 尚平 (横浜市)市民 病院教命教急 センター) ⑤田中 秀治 (国士館大学) 学院教急システム研究科)	一般発表 24	【一般発表 25】 救急活動6(処置範囲拡大)座 長:三浦 学 (男鹿地区) 助言者:小池 俊明 (鳥腹総合医康センター) 博 (長岡市) 発表者:①伊藤美友紀(盛岡地区広域) 後、11上 代 (七尾鹿島) ③今村 裕輔 (佐賀広域) 後、高崎 政志 (石川県メディカル 協議会) ⑤加藤 枯末 (山形市) ⑥今岡 大千春 (かすみがうら市)	奈良 一成 (大館市)		【一般発表 28】 搬送困難症例・連携 座 長:豬俣 浩之 (上越地域) 衛 (長岡赤十字病院) 野書者:宮藤 正行 (郡山地方広域) 発表者:①柴田 広文 (奈良県広域) ③山岡 仏文(奈克県広域) 3山岡 (東京消防庁) 4梅木 省(澤武雄勝広域) 6井坂 好希 (川崎市) ⑦箱部 雄太 (大阪市)	【スキルトレーニング 7】 「活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング」 〜活動時間の短縮を目指して〜講師:小林 正和 (東北大学病院高度教命教急センター) 佐藤 哲哉 (みやぎ県南中核病院) 横川 裕大 (石巻赤十字病院教) 司 会:荒田悠太郎(東北大学) 指導者:①今井 浩之(東北大学)		
12:10 —	閉会式準備(10分)										
12:20 —	12:20~12:40 <20分> 【閉会式】 総 括:全国救急隊員シンポジウム										
12:40 —	運営委員長 挨 拶: 仙台市消防局長(開催地) 堺市消防局長(次期開催地)										

14:00 -

全国メディカルコントロール協議会 〜消防庁・厚生労働省 主催〜

17:00 -